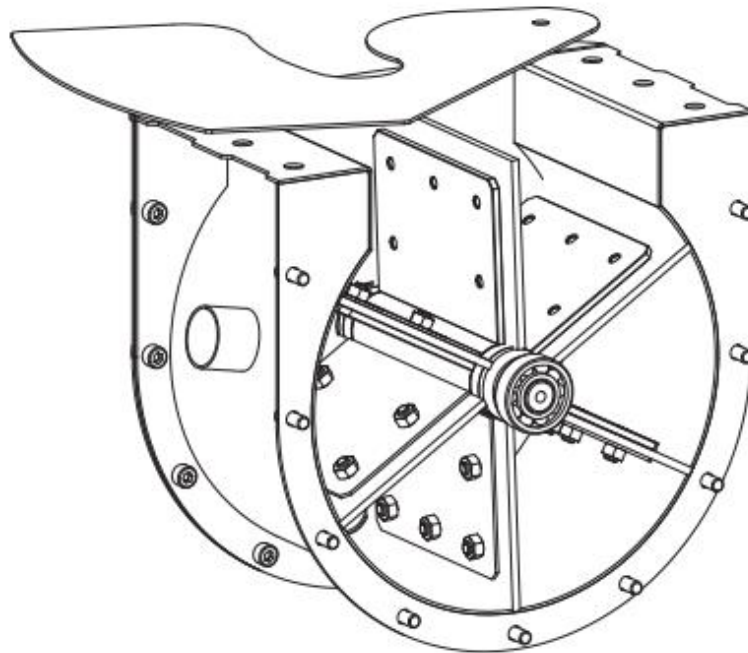




X-FLOC ブローイングマシン M99 ロータリー・エアロック メンテナンス・マニュアル

No. 2271 Version 1



ロータリー・エアロック

内容	
メンテナンス・マニュアル — ロータリー・エアロック	2
エアロック分解図	2
エアロックの分解	3
エアロックのメンテナンス	3
エアロックのフェルトリングとゴムパッドに注油する	4

メンテナンス・マニュアル — ロータリー・エアロック

断熱材ブローイングマシン M99 のロータリー・エアロック（以下、エアロック）は、粉碎された断熱材料を遠心ファンの気流に送り込みます。断熱材ブローイングマシンを正しく作動させるためには、エアロックが完全に機能する必要があり、欠陥や漏れがあってはなりません。欠陥や漏れがある場合、エアロックを整備し、欠陥部品や摩耗した部品を交換する必要があります。

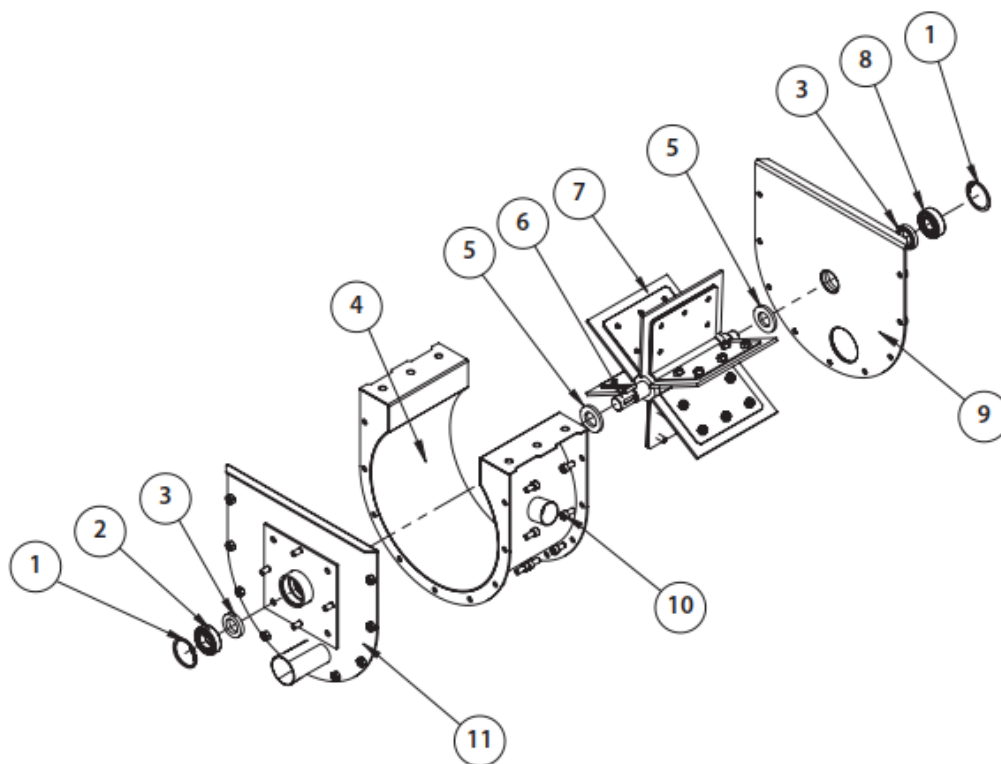


注意！ 不適切なメンテナンスによるケガの危険！

不適切なメンテナンスはケガや物的損害を引き起こす可能性があります。

- メンテナンス作業を開始する前に、メインアダプタを取り外し、マシンの周囲に十分な作業スペースがあることを確認してください。
- 部品の分解が必要な場合、後で必ずそれらの部品を正しく元通りに取付け直す必要があります。
- 分解作業中に、作業者が自分の知識で解決できない場合には、訓練を受けた担当者に連絡してください。

エアロック分解図



番号	記述	部品番号
1	サークリップ	127
2	ボールベアリング 6005	420
3	シャフトシール	099
4	シェルプレート	2270
5	フェルト・シール・リング	150
6	エアロックシャフト	1538

番号	記述	部品番号
7	エアロック・ホイール	2274
8	ボールベアリング 6204	6037
9	吸入コンソール	2273
10	固定ネジ	
11	排気開口部コンソール	2272

エアロックの分解

1. ブローイングマシンを電源から完全に切り離します。
2. エアロックシャフト（6）にネジがある場合には、そのネジを外します。適切なペンチを使用して、吸入および排気開口部コンソール（9/11）からサークリップ（1）を取り外します。
3. 固定ネジ（10）を緩めて、吸入コンソール（9）を取り外します。この時、両方の構成要素と一緒に固定するために使用されていたシリコンマスのために、平らなレバーを吸入コンソール（9）とシェルプレート（4）の間に使う必要が生じるかもしれません。

エアロックのメンテナンス

1. 開いているエアロックからホイール（7）を外します。クランプシートのナットを緩め、エアロックからガスケットを取り出します。
2. エアロックシャフト（6）からシールリング（5）を外し、新しいフェルト・シール・リングと交換します。
3. 両方のコンソールのベアリングシートからボールベアリング（2/8）とシャフトシール（39）を取り外します。シャフトシールを挿入する前に、ベアリングシートを清掃してください。エアロックの内側を向いている必要があります。
4. ボールベアリング（2/8）をベアリングシールにゆっくりと押し込みます。ベアリングシートに無理に押し込まないでください。
注意：送気用と排気口用コンソール（9/11）用に異なるボールベアリングが用意されています。
5. 送気コンソール（9）とシェルプレート（4）の内側から古いシリコンの残りを適切な道具（スクレーパー）で取り除き、新しいシリコンを塗布します。
注意！ エアロックの表面を傷つけないでください。
6. ホイール（7）を差し込みます（正しい取り付け方向に注意してください）。ガス注入コンソール（9）とシェルプレート（4）を一緒にネジで締め、気密性を確認してください。
7. エアロックの再組み立て後、コンソールの 1 つとシールリングとの間にすき間がある場合は、次の手順を実行します。排気口コンソールのエアロックシャフトに M8 ネジを切って、軸方向に合わせます（11）。ネジ M8 と必要なディスクを使用してエアロックします。詳細については当社カスタマー・サービス・チームにお問い合わせください。

エアロックのフェルトリングとゴムパッドに注油する

エアロックのフェルトリングに
サラダ油を差す

エアロックのフェルトリング
(円内)に 20 稼働時間ごと
にサラダ油を差して下さい。



エアロックのゴムパッド 6 枚
全部にシリコンスプレーをす
る

赤い点線の部分：
エアロックの全 6 枚のゴムパ
ッド(黒)に 20 稼働時間ご
とにシリコンスプレーを噴霧し
て下さい。

